

# 2018年8月10日 第3255回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 北村 会長

<斉 唱> 「手に手つないで」

<ゲスト紹介> \*横須賀市資源循環部部長 小川 隆 様

\*横須賀市資源循環部総務課長 高野 淳一 様

<ビジター紹介> \*地区公共イメージ委員会 委員長 辻 彰彦 様 (大和中RC)

\*横須賀北RC 会長 竹永 薫 様 幹事 高田 源太 様

\*三浦RC 会長 鈴木 康仁 様 幹事 秋元 清道 様

\*横須賀西RC 会長 長島 澄雄 様 幹事 坂倉 真人 様

\*横須賀南西RC 会長 長瀬 弘 様 幹事 宮本 清志 様

<誕生月祝> \*渡 邊 磨 (S.44. 8. 3) \*信 木 啓 輔 (S.36. 8. 5)

\*土 田 匡 明 (S.40. 8.16) \*山 下 和 男 (S.40. 8.27)

\*岩 崎 次 郎 (S.42. 8.29) \*谷 繁 信 (S.21. 8.31)

\*八 卷 敏 博 (S.28. 8.31)

各会員

<入会月祝> ・波 島 頭 明 ・佐 久 間 博 一 ・岡 昌 憲 ・野 坂 英 八

・宮 島 才 一 ・加 藤 元 章 ・小 林 康 記 ・斎 藤 慎 太 郎

・西 村 安 彦 ・高 橋 仁 子 ・齋 藤 秀 人 ・中 島 洋

・曾 我 宗 光 ・濱 田 恵 理 ・平 田 文 彦

各会員

<会 長 報 告> \*新会員入会 齋藤 隆 会員



\*米山記念奨学会より感謝状授与 佐久間博一 会員

\*ガバナー事務所より

・国際ロータリー第2780地区 地区大会のお知らせ

10月14日(日) 11:30受付・登録 12:30点鐘 於：茅ヶ崎市民文化会館

・青少年交換来日・帰国学生オリエンテーション/解団式のご案内について

9月 1日(土) 14:00~17:00 於：アイクロス湘南6F

<委員長報告> \*雑誌委員会 瀬戸副委員長よりロータリーの友8月号

<幹事報告> \*ガバナー月信 No. 13及びNo. 2

\*横須賀西RC事務局移転のお知らせ

8月より 根岸町2-32-18 オギノビル3Fへ移転

\*国際ロータリー日本事務局より

財団寄付確定申告用領収書 受領

\*例会終了後第1グループ会長・幹事会開催(302研修室)

\*第1055回ローターアクト例会開催のお知らせ

8月21日(火) 18:30~19:30 於：大滝会館2Fホール

<出席報告> \*出席委員会 福西委員長より8月10日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出 席 数	欠 席 数	メイクアップ数	出 席 率
123名	105名	68名	37名	0名	64.76%

## <ニコニコ報告>

- ・地区公共イメージ委員会 辻 彰彦委員長（大和中RC）本日は伝統ある横須賀RCの例会に参加させていただき大変光栄でございます。よろしくお願い申し上げます。
- ・横須賀北RC会長竹永 薫様、幹事高田源太様 本日はお世話になります。
- ・三浦RC 会長鈴木康仁様、幹事秋本清道様 本日はよろしくお願い致します。
- ・横須賀西RC会長長島澄雄様、幹事坂倉真人様 7月19日の第1グループ合同例会に於いて、皆様にご協力いただきましてありがとうございました。本日は宜しく願いいたします。
- ・横須賀南西RC会長長瀬弘様、幹事宮本清志様 本日は宜しく願い致します。
- ・三 役 横須賀市資源循環部長 小川 隆様、課長 高野淳一様、本日はお忙しい中卓話誠にありがとうございます。
- ・瀬 戸、杵 渕、福 西、猿 丸、中村 隼、加藤 隼、長 尾、若麻績 各会員  
横須賀市資源循環部部長 小川 隆様、本日はようこそお越しくださいました。卓話楽しみにしています。
- ・第1グループ加藤ガバナー補佐、勝見ガバナー付幹事 第1グループ会長・幹事の皆様、地区公共イメージ辻委員長様、暑い中お越しいただき本当にありがとうございます。
- ・三 役 本日は第1グループ会長・幹事の皆様ようこそいらっしゃいました。ごゆっくりお過ごしください。
- ・小 山、新倉 隼、山 ・、渡 邊、徳 永、鈴木 健、岡 田、岡、齋藤 眞、前 川 各会員  
地区公共イメージ委員長 辻 彰彦様、第1グループ会長、幹事の皆様ようこそお越し下さいました。どうぞ例会をお楽しみください。
- ・渡 邊、信 木、土 田、岩 崎、谷、八 巻 各会員 誕生月祝いとして
- ・佐久間、岡、宮 島、加藤 隼、小林 隼、齋藤 隼、濱 田、平 田 各会員 入会月祝いとして
- ・三 役 齋藤隆会員、ご入会誠におめでとうございます。
- ・明 野、中村 隼、上 林、八 巻、澤 田、田 邊、新倉 隼、山 ・、鈴木 健、佐久間、岡 田、根 岸、鈴木 健、長 堀、前 川 各会員  
齋藤隆会員、入会おめでとうございます。ロータリーライフをどうぞお楽しみください。
- ・齋藤 隆 会員 新人です。よろしくお願い致します。
- ・山田 健、大 竹、外 崎、徳 永 各会員 ロータリー財団・米山奨学委員会合同テーブルミーティングを7月31日、甲羅にて実施しました。多くの会員に出席頂きありがとうございます。石田会員おいしいお酒、小沢会員おいしいチーズケーキのお土産ありがとうございました。
- ・澤 田 会員 奉仕プロジェクト委員会ミーティングを三役ご出席のもと8月6日に開催いたしました。各委員長による本年度活動報告と各カウンセラーの補足となる意見も有り、最後に北村会長に講評いただき大変有意義なミーティングとなりました。幹事の齋藤眞且職業奉仕委員長ありがとうございました。
- ・長 坂 会員 会員増強・会員維持他合同ミーティングありがとうございました。直前バタつきまして申し訳ございませんでした。
- ・前 田、勝 間、勝 見 各会員 会員増強・維持テーブルミーティングにお忙しい中をご参集いただきありがとうございました。お蔭様で有意義なものになりました。北村会長、江沢副会長、齋藤幹事ありがとうございました。
- ・新倉 隼、松本 健、小 平 各会員 夜間合同例会にご参加の皆様、いろいろ沢山ご協力ありがとうございました。
- ・佐久間 会員 米山記念奨学会から感謝状を頂きありがとうございました。
- ・信 木 会員 先週は観音崎までお越しいただき、ありがとうございました。無事に終わってホッとしています。また来年もお待ちしています。
- ・山 ・ 会員 NTTの加藤淳会員と臼井健会員に大変お世話に成りました。有難うございました。

- ・高橋 勲 会員 三浦学園サッカー部インターハイベスト8進出。優勝旗持って帰ります。
- ・角 井、鈴木 豊、長 尾、兼 城、三 堀、平 田 各会員  
慶應高校、横浜高校、初戦突破おめでとう。神奈川同士の決勝行けるぞ！
- ・五十嵐 会員 写真をいただいて

## <卓 話> 「横須賀市ごみの減量化・資源化の取り組みについて」

横須賀市環境部長 小 川 隆 様

横須賀資源循環部部長の小川です。本日は横須賀ロータリークラブでのお話の機会を頂き、誠に有難うございます。また、皆様におかれましては日頃より横須賀市の廃棄物行政に多大なるご協力を頂いていること、この場をお借りしましてお礼申し上げます。

まずは横須賀市の概況についてお話しします。平成30年4月1日の人口は406,207人、面積は100.82km<sup>2</sup>、事業所数・従業者数は平成26年7月の経済センサス基礎調査において、事業所数13,643事業所、従業者数は148,544人となっております。次に本市のごみ処理の現状をお伝えします。一点目はごみ処理の体系、二点目はごみ量の推移、三点目は事業系ごみの処理についてです。最初にごみ処理の体系ですが、燃せるごみは南処理場で焼却し、その焼却灰は路盤材などに再利用しております。粗大ごみも南処理場で破碎処理し、金属チップとして再利用しております。不燃ごみは県外の処理場に運び、埋め立て処理をしております。缶・ビン・ペットボトル、容器包装プラスチックは追浜にありますリサイクルプラザで選別の後、資源化しております。その他、集団資源回収や乾電池・小型家電等も資源化しております。次にごみ量の推移ですが、本市のごみ量は年々減少しております。三点目は事業系ごみの処理についてです。事業系ごみとは事業活動に伴って排出されるごみの中で、店舗・会社などの営利目的施設だけでなく、病院や学校、市役所など官公庁や公共サービス施設からのごみも含まれております。また、従業員の飲食のごみや、本来の事業とは別の臨時的なごみも事業系ごみに分類されます。これらの事業系ごみは「事業者が自らの責任において適正に処理すること」となっており、一般のごみとは処理の方法が異なっております。事業系ごみは産業廃棄物と事業系一般廃棄物に分類され、それぞれ事業者自ら運搬または許可業者に運搬を委託して、産業廃棄物処理施設や市の処理施設等で処理をします。



このようなごみ処理の現状の中、本市においてもごみ処理の課題がいくつかあります。一つ目は本市唯一の焼却施設である南処理場の老朽化です。稼働から既に35年が経過し、毎年多額の老朽化対策費用が生じております。二つ目は最終処分場の問題です。平成10年3月に長坂の最終処分場の埋め立てが完了して以降、県外の民間施設に埋立処分を委託していますが、毎年度3億円以上の委託費用が発生しており、新たな最終処分場の確保が課題となっております。このため、三浦市と共同で区域内に最終処分場を確保する「ごみ処理の広域化」を進めております。

このようにごみ処理の現状の中、本市においてもごみ処理の課題がいくつかあります。一つ目は本市唯一の焼却施設である南処理場の老朽化です。稼働から既に35年が経過し、毎年多額の老朽化対策費用が生じております。二つ目は最終処分場の問題です。平成10年3月に長坂の最終処分場の埋め立てが完了して以降、県外の民間施設に埋立処分を委託していますが、毎年度3億円以上の委託費用が発生しており、新たな最終処分場の確保が課題となっております。このため、三浦市と共同で区域内に最終処分場を確保する「ごみ処理の広域化」を進めております。

次にごみ処理基本計画のご説明です。ごみ処理基本計画とは、長期的視点に立ったごみ処理の基本計画を定めたもので、ごみ処理の現状と課題を踏まえた、課題解決の具体的取り組みやごみの減量化・資源化の目標などが記載されております。基本理念に「未来へつなぐ“循環型都市よこすか”の創造」を掲げ、平成33年度のごみの発生・排出量を、平成27年度比11%削減することを目標に設定しています。目標を達成するための取り組みとして最も皆様をお願いしたいのが、「3R」つまり「Reduce（発生抑制）」、「Reuse（再使用）」、「Recycle（再生利用）」の推進です。また、直近では食品ロス（まだ食べられるのに廃棄される食品）削減も重要な取り組みです。平成27年度推計では、年間2,842万トンの食品が日本で廃棄されており、そのうち646万トンがまだ食べられる食品ロスです。日本国民一人当たり、一日

136gの換算となり、約お茶碗一杯分の食品です。その食品ロスを削減するための取り組みとして、「完食ありがとう、食べ残しゼロ」というポスターも作成しましたので、是非事業所でも掲出してください。全国的にも様々な食品ロス削減の取り組みが行われていますが、本市でも「実践！30・10運動」を提唱しています。どういうことかと言いますと、例えば宴会で乾杯後の30分とお開き前の10分間は食事を楽しもうといったものや、家庭では毎月10日と30日は冷蔵庫をチェックして無駄に捨てられてしまう食材を減らしましょうといったものです。その他、事業所から出る生ごみや資源化できる紙類、事業系剪定枝についても、市から情報提供を行い、資源化の検討をお願いしています。現在、事業系剪定枝は南処理場で焼却処理していますが、剪定枝は水分が多く、焼却処理の負担が大きくなっています。そのため、新たな処理場の建設後は、剪定枝を民間の処理業者でチップ材や堆肥として資源化することを計画しています。三浦市と共同で建設を進めている処理施設では、「燃せるごみ」、「不燃ごみ」、「粗大ごみ」の広域処理を実施し、その他のごみはそれぞれの市で資源化処理を行う予定です。新しい処理施設は長坂に建設中であり、平成28年に着工し、平成32年2月に引き渡しの予定です。新しい処分場はストーカ方式というごみの燃焼で次のごみを少しずつ燃焼させる方式を、今の南処理場と同じく採用しています。不燃ごみ処理施設では選別後に破碎処理を行います。その不燃残さは、三浦市に建設中の最終処分場に埋め立てます。三浦市の上宮田に建物式の最終処分場の建設を進めています。

最後に、災害時の廃棄物対策についてお話をさせていただきます。平成23年の東日本大震災では膨大な災害廃棄物が発生し、被災地にとって大きな課題となりました。その後も各地で災害が発生しており、そのような大規模災害が発生すると、家屋の倒壊に伴う廃棄物や、避難所からのごみ、被害のなかった家庭からは一般のごみが排出されてきます。そのような状況下でも迅速かつ適正なごみ運搬・処理が実施できるよう、本市では平成27年3月に「災害廃棄物処理計画」を策定しました。計画では、家庭ごみの収集・持ち込みを災害発生後3日間停止し、安全確認後、4日目以降に衛生用品から収集を再開する内容です。また、トイレが使用できない場合は、携帯トイレ・仮設トイレの使用をお願いし、それを回収することとしています。いずれにしても処理施設の被害状況に応じて迅速に対応内容を検討していきます。災害時の事業系ごみは、平時と同様に自らの責任において適正に処理する必要がありますが、状況によっては申し訳ございませんが市の処理施設への搬入自粛等をお願いする場合もあるかと思えます。

以上で「横須賀市ごみの減量化・資源化の取り組みについて」のお話を終わりとさせていただきます。ご清聴有難うございました。

Q. 家庭でのごみの分別について、特に注意して欲しい点はありますか？

A. 一番は、缶・びん・ペットボトルの資源物において、中身が濯がれていなかったり、ラベルが剥がされていなかったりすると、ペットボトルのような売却可能な資源物の価格が下がってしまいます。また、びんと一緒に出される際、びんが割れてしまってその欠片がペットボトルに付着してしまうと、やはり資源価格が下がってしまいます。今の区分では当然にびんもペットボトルや缶と一緒に出されるとは思いますが、丁寧にお出しただけのご協力をお願いしたいと思います。

<閉会・点鐘> 13:30 北村 会長

週報担当 杵 渕 哲 也